

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 札幌市 】

1 実践テーマ	【I、III、V】
2 実施対象者	札幌市立新琴似北中学校 1年、3年、特別支援学級 314名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (道徳) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	生徒がパラリンピアンとの講演を通して、障がいを持った人や自分と感じ方や考え方が異なる人に対して、公正・公平に接することの大切さを理解する。また、既習事項を生かして、共生社会について自分の考えをもつことができるようにする。
5 取組内容	各学級における道徳の時間で、日本代表GKとして活躍した永瀬充氏の経歴を紹介するとともにパラリンピックやアイススレッジホッケーについて事前学習する。 その後、体育館で講演会を実施する。永瀬氏のモットーである、スポーツも人生も「楽しく、強く、かっこよく」をテーマとして、お話をしていただく。講演会最後に、永瀬氏がバンクーバーオリンピックで獲得した銀メダルに生徒一人一人が触れる機会をとっていただく。 ○指導計画 【3時間扱い】 〔道徳の時間〕 1 時間 ・略歴や競技歴などを紹介する。 〔特別講演会〕 2 時間 ・「楽しく・強く・かっこよく」と題した講演会を実施。前半は永瀬氏の歩みと「障がい」について、後半は平昌パラリンピックについての講演。PTAにも講演会を公開する。

6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ・夢をもち、あきらめずに取り組むことの大切さや、スポーツを通じて心身を向上させ、文化や国籍の違いを超えて友情やフェアプレーの精神が育まれることなどをお話ししていただいた。 ・目標のために小さなことを毎日コツコツと努力することが大切。 ・つらいときには仲間や友達、家族が支えになってくれる人がいること。 子どもたちに問いかけながら、たくさんのメッセージ、「夢」を持つことの大切さ、それに向かって努力することの大切を伝えていただいた。こうしたひとつひとつのメッセージを生徒は真剣な眼差しで聴き、しっかりと心で受け止めていた。 ・生徒は永瀬さんの生き方に触れ、今の自分を見直すきっかけになり、これからの生活を前向きに進んでいく力を与えていただいた。限られた時間であったが、永瀬さんの力強い魂のこもった言葉と、ずっしりと重いメダルから、たくさんのメッセージと感動をいただいた、すばらしい講演会であった。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<p>取組の内容に記載した通り。</p>
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・「パラリンピック特別講演会」として、PTAにも案内を出したが参加者は少なかった。講演日の決定が遅かったこともあるが、早めの周知をすべきだった。また、地域へも案内を出して、参観していただき、家庭・地域・学校をつなげる機会とすることで、より濃い学びの機会となると考える。 ・事前事後学習の確保が十分でなかった。特に事後学習では感想を書く時間は設けたが、お互いの意見交流をすることは不十分だった。
9来年度以降の実施予定	<p>経費や講師の確保等、持続可能な仕組みづくりを検討している。</p>